

れい わ ねん ど
令和2年度

ぶん か げいじゆつ こども いく せい そう ごう じ ぎょう
文化芸術による子供育成総合事業

じゆんかい こう えん じ ぎょう
— 巡回公演事業 —

おお くら りゅう きょう げん

大藏流狂言

きょう げん ねん よ つづ
狂言は650年余続く

のう がく し きょう げん かた
能楽師 狂言方
おお くら もと なり
大藏基誠

でん とう かく しき えん げき
伝統と格式のある演劇ですが

お だ のぶなが とよとみひでよし
織田信長、豊臣秀吉

とく がわ いえ やす たの
徳川家康たちも楽しんだ

わら えん げき
笑いの演劇です。



かん しょう
鑑賞の
て びき
手引

ぶん か げいじゆつ こども いく せい そう ごう じ ぎょう じゆんかい こう えん じ ぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —

わ くに いちりゅう ぶん か げいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ ぶたいげいじゆつ かんしょう き
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機
会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術
鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

じぜん こども じつえん しどうまた かんしょう しどう おこな じつえん こども
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演ではできるだけ子供た
ちにも参加してもらいます。

きょうげん 狂言って？

きょうげん いま ねんまえ で き しばい にちじょう きょうちよう
狂言は、今から650年前に出来たお芝居です。「日常のおかしさ」を強調し
えん とくちよう にほん でんとうげいのう げんぞん せ かいさい こ えんげき
て演じているのが特徴の日本の伝統芸能です。現存する世界最古の演劇で、
げんだい わら げいじゆつ い
現代でいうコントであり「笑いの芸術」とも言われます。

きょうげん とうじようじんぶつ 狂言の登場人物は？

れきし じよう ゆうめい ひと とくてい じんぶつ で とうじようじんぶつ
歴史上の有名な人や特定の人物は出てきません。登場人物の
おお きんじよ す ひと ちほう き かねも
多くは、近所に住む人、地方から来たお金持ちなど、どこに
でもいそうな庶民です。上司と部下、僧侶や山伏、夫婦など、
しよみん じようし ぶ か そうりよ やまぶし ふうふ
だいたいの設定や肩書きが明かされますが、具体的な名前を
せつてい かた が あ ぐ たいてき なまえ
な の
名乗ることはありません。

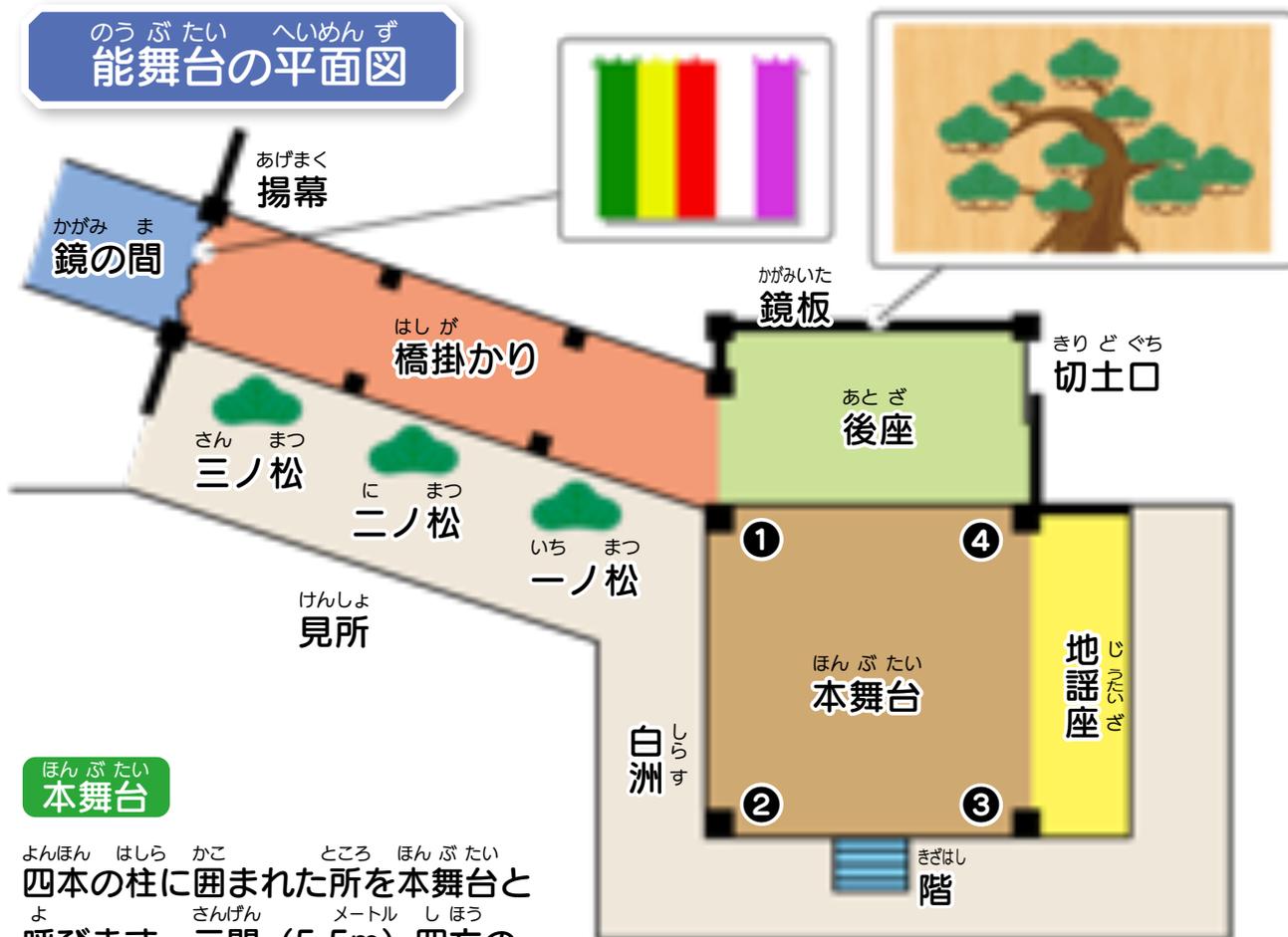


のうぶたい 能舞台って？

のうがく のう きょうげん えん せんもん
能楽（能と狂言）が、演じられる専門
げきじよう まつ え はいけい
の劇場です。松の絵は、背景ではなく
のうがくどう えが
シンボルになります。能楽堂に描かれ
まつ ならけん かすがたいしゃ
ている松は、奈良県の春日大社にある
まつ ようごう
影向（ようごう）の松です。影向とは、
かみさま まつ お た い かみさま まつ きやくせきがわ
神様が松に降り立ったことを言います。神様である松が客席側にあり、それ
かがみ うつ かがみいた きょうげん ぶ たいじよう やくしゃ かんきやく
を鏡のように映したのが鏡板です。狂言は、つまり舞台上の役者は観客では
かみ えん
なく神に向かって演じているのです。



のうぶたい へいめんず
能舞台の平面図



ほんぶたい
本舞台

よんほん はしら かこ ところ ほんぶたい
四本の柱に囲まれた所を本舞台と
よ さんげん メートル しほう
呼びます。三間 (5.5m) 四方の

ぶたい ひのきいた は ゆかした つぼ せっち おんきょうこう か たか
舞台で檜板が張られています。床下には壺が設置してあり音響効果を高めています。

かがみ いた
鏡板

ぶたいこうほう えが まつ はいけい
舞台後方に描かれている松の背景。

はしら
柱

よんほん はしら よ な しほう あらわ
四本の柱はそれぞれの呼び名があります。四方を現しているもので、
しゅん か しゅうとう とうざいなんぼく ひょうげん
春夏秋冬、東西南北を表現しています。

- ① シテ柱：シテ（主役）がこの柱の近くに立っていることが多いです。
- ② 目付柱：能面をつけ視界が狭くなった演者の目印になる柱です。
- ③ ワキ柱：ワキ（主役の相手役）がこの柱のそばにすることが多いです。
- ④ 笛柱：器楽を演奏する笛方が近くに座る柱です。

あげ まく
揚幕

はしが はし しょく まく まく ひら きょうげんし ぶたい
橋掛かりの端にある、5色の幕です。この幕が開き、狂言師が舞台に
とうじょう
登場します。

はしが
橋掛かり

えんじや つうろ あげまく ほんぶたい なが ろうか
演者が出入りする通路であり、揚幕から本舞台へとつながる長い廊下。



講師：おおくらもとなり
大藏基誠

講師プロフィール

名前 おおくらもとなり 大藏基誠
 誕生日 1979年3月3日
 星座 うお座
 出身地 東京
 血液型 A型
 身長 183cm
 特技 殺陣・ベース・サッカー

25世大藏彌太郎の次男で24世大藏彌右衛門と父に師事。4歳8ヶ月で「以呂波」にて初舞台を踏み、今日までに「末広がり」「那須の語」「千歳」「三番三」「釣狐」を被く※。小・中・高に出向き狂言を楽しませる学校狂

言を展開し若い世代に伝統芸能の楽しさを伝える。その独特なトークで今までになかった伝統の楽しみを発見出来ると生徒達からも人気がある。

※被く：能楽の修行の節目となる曲を初めて披露するという意味の能楽独特の用語

知っていますか？ ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。